

New Frontiers of Innovation

古河電工グループ
サステナビリティレポート **2012**

CSR資料編



環境性能指標化推進:LCA算定製品群

2009年度から、環境保全活動目標として“環境調和製品における「環境性能の指標化」”に取り組み、「見える化」を推進してきました。

「環境性能」とは、基準モデルに対する改善度合を定量化する指標で、商品の機能的な指標(例えば、強度等)とLCAを通じた環境負荷(例えば、CO₂排出量等)について、両軸でどのくらい貢献できているかといった指標を表します。

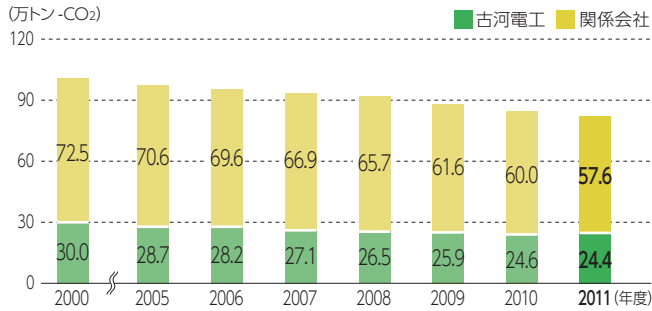
2012年度は、35製品で取り組みます。12年度以降は、経営指標への活用やカタログの表示に加え、次期中期計画の数値目標への組み入れや研究開発への応用を目指していきます。

LCA対象製品群の登録状況

カンパニー事業部門	登録製品群				
	2010年度		2011年度		登録累計
グループ合計		18		22	
情報通信カンパニー	SMファイバ素線 1000心細径ケーブル 融着機1機種 光アンプ1機種 多段多芯フェルル 半導体レーザーモジュール3機種 光ネットワークユニット(GEPON)	9	大型SMファイバ母材 テープ芯線 光ケーブル製品 ハロゲンフリー電線 融着機2機種 光アンプ2機種 可視光源1機種 ONU CATV光アンプ	11	20
エネルギー・産業機材カンパニー	銅荒引線 グリーントラフ エフセル ATテープ	4	銅伸線 エフコテープ 6.6KV常温収縮型直線接続部 エフレックス MC-PET	5	9
電装・エレクトロニクスカンパニー	TEX ヒートシンク メモリーディスク(日光) 自動車用端子部品	4	エナメル線 ワイヤーハーネス SRC	3	7
金属カンパニー	銅条製品(EFTEC-97)	1	WS箔 Auメッキ品 ブスバー	3	4

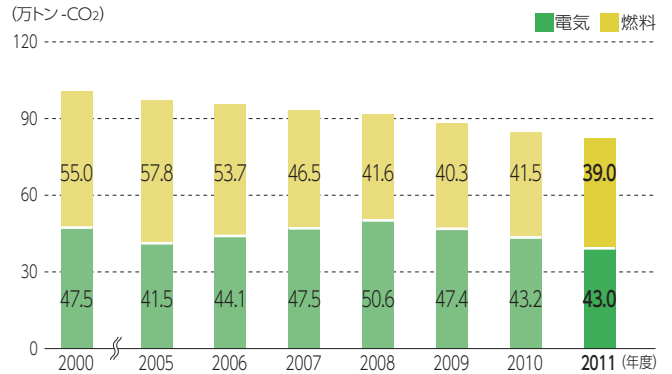
CO₂排出量削減活動

地球温暖化ガス排出量

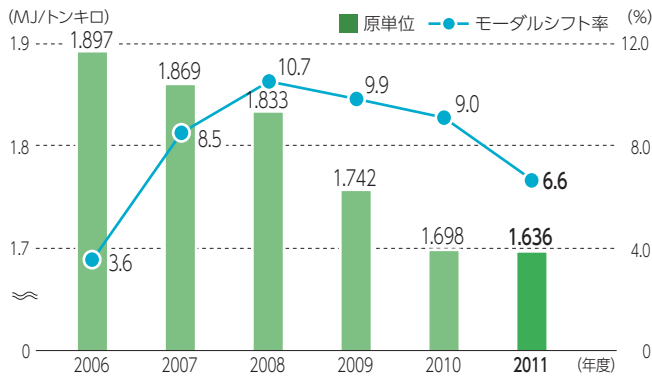


※1 電力使用量の換算に関し、各電力会社の排出係数を使用
 ※2 水力発電分はCO₂排出量ゼロとする

地球温暖化ガス排出量 (燃料・電気区分)



モーダルシフト率と原単位 (古河電工)

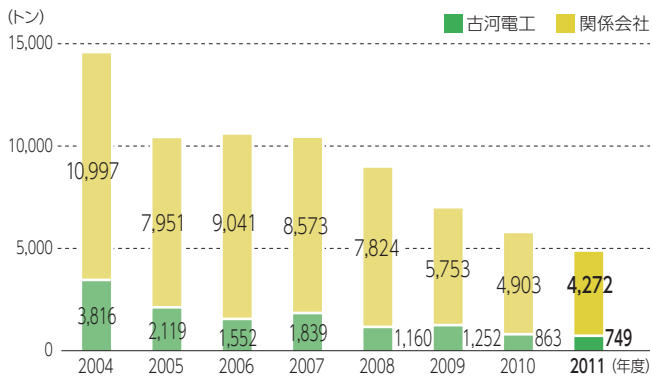


輸送に係わるCO₂排出量 (古河電工)

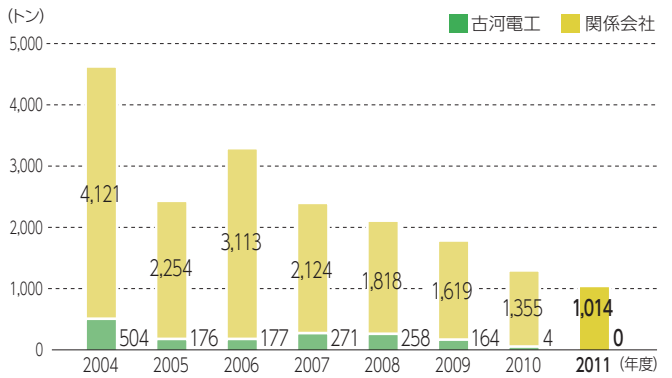


ゼロエミッション活動

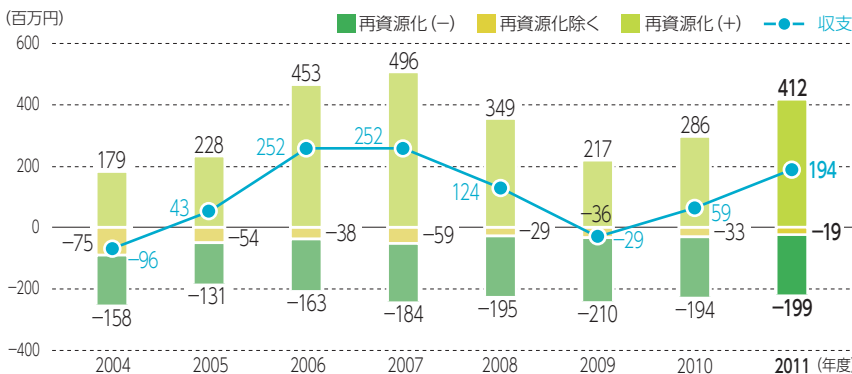
再資源化されない廃棄物処理量



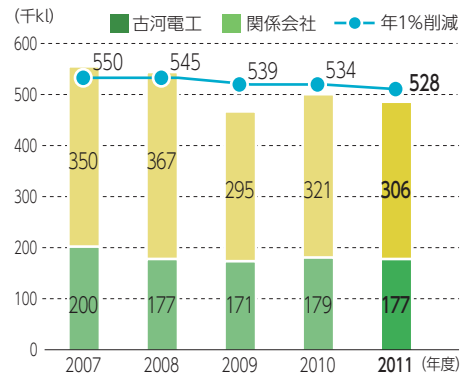
直接埋立処分量



廃棄物処理費用 (古河電工)

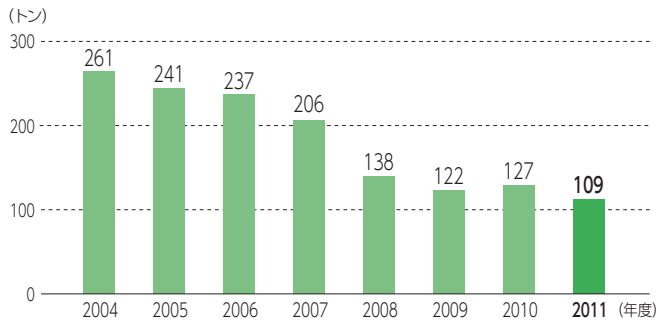


エネルギー使用量

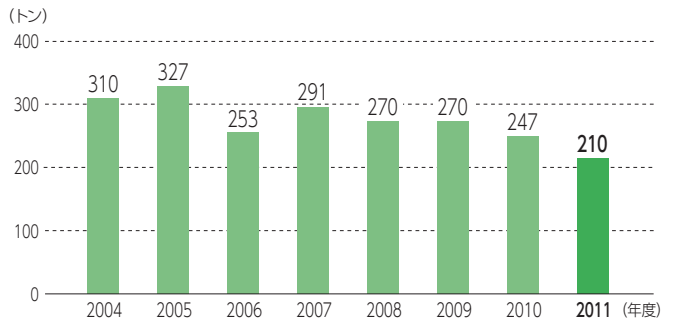


化学物質管理活動

グループ全体の揮発性有機化合物排出量(トルエン+キシレン)



揮発性有機化合物排出量(古河電工)



※ 揮発性有機化合物は、電線工業会で指定する揮発性有機化合物118物質(2012年1月版)を対象

PRTR対象物質一覧表

グループ全体 (単位:トン)

物質番号	化学物質名	取扱量	排出量	移動量	除害化処理量
1	亜鉛及びその化合物	6.1	0.1	0.6	5.4
31	アンチモン及びその化合物	298.8	0.0	0.9	297.8
53	エチルベンゼン	102.7	1.6	9.9	91.2
71	塩化第二鉄	104.7	0.0	26.1	78.6
75	カドミウム及びその化合物	76.5	0.0	0.5	76.0
80	キシレン	280.4	18.9	15.2	246.4
82	銀及びその水溶性化合物	23.9	0.1	1.4	22.4
86	クレゾール	372.2	0.2	26.3	345.7
87	クロム及び三価クロム化合物	147.3	0.0	8.8	138.4
88	六価クロム化合物	20.7	0.0	11.1	9.7
132	コバルト及びその化合物	4.2	0.0	0.0	4.1
133	酢酸2-エトキシエチル	2.5	0.0	0.0	2.4
144	無機シアン化合物	15.0	0.1	1.5	13.4
213	N,N-ジメチルアセトアミド	161.3	0.1	8.1	153.1
232	N,N-ジメチルホルムアミド	161.3	0.1	1.8	159.4
255	デカプロモジフェニルエーテル	71.0	0.0	0.2	70.8
272	銅水溶性塩	16,824.3	0.2	53.0	16,771.1
273	1-ドデカール	78.1	0.8	1.0	76.3
281	トリクロロエチレン	0.0	0.0	0.0	0.0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	206.7	26.2	1.5	179.0
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	21.8	6.1	0.4	15.2
300	トルエン	254.3	88.8	68.9	96.6
302	ナフタレン	3.0	0.0	0.2	2.7
304	鉛	1.6	0.0	0.0	1.6
305	鉛化合物	35,304.5	0.1	3.4	35,301.0
308	ニッケル	608.0	0.0	1.2	606.8
309	ニッケル化合物	120.5	0.0	14.6	105.9
332	砒素及びその無機化合物	14.2	0.0	0.0	14.1
333	ヒドラジン	15.7	0.1	0.0	15.7
349	フェノール	239.6	0.1	19.0	220.6
355	フタル酸ビス	201.4	0.0	0.2	201.3
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	30.3	1.5	24.5	4.2
384	1-プロモプロパン	2.2	2.0	0.0	0.2
392	ノルマルヘキサン	2.8	0.2	0.5	2.1
394	ベリリウム及びその化合物	0.7	0.0	0.0	0.7
400	ベンゼン	0.5	0.1	0.0	0.5
405	ほう素及びその化合物	7.6	1.9	1.2	4.5
408	ポリ(オキシエチレン)オクチフェニルエーテル	1.3	0.0	0.0	1.3
410	ポリ(オキシエチレン)ノルフェニルエーテル	1.4	0.0	1.1	0.3
412	マンガン及びその化合物	1,505.6	0.0	0.0	1,505.6
438	メチルナフタレン	31.8	1.1	0.0	30.7
453	モリブデン及びその化合物	2.0	0.0	0.3	1.7
合計		57,328.7	150.5	303.5	56,874.7

※ 取扱量1トン以上(特定第一種指定化学物質は0.5トン以上)の物質を対象

古河電工 (単位:トン)

物質番号	化学物質名	取扱量	排出量	移動量	除害化処理量
1	亜鉛及びその化合物	6.1	0.1	0.6	5.4
31	アンチモン及びその化合物	62.5	0.0	0.8	61.6
53	エチルベンゼン	11.2	0.0	0.3	10.9
80	キシレン	6.9	1.4	0.8	4.7
82	銀及びその水溶性化合物	18.6	0.0	0.0	18.6
86	クレゾール	14.1	0.0	11.0	3.1
88	六価クロム化合物	10.6	0.0	0.0	10.6
144	無機シアン化合物	16,814.0	0.2	49.8	16,764.1
213	N,N-ジメチルアセトアミド	4.5	0.0	0.0	4.5
232	N,N-ジメチルホルムアミド	210.3	81.4	48.4	80.5
255	デカプロモジフェニルエーテル	1.3	0.0	0.0	1.3
272	銅水溶性塩	1.7	0.0	0.1	1.6
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	2.9	0.0	0.0	2.9
300	トルエン	24.9	0.0	1.5	23.4
304	鉛	0.8	0.0	0.0	0.8
305	鉛化合物	11.4	0.0	0.0	11.4
308	ニッケル	2.9	0.0	2.8	0.0
309	ニッケル化合物	5.6	1.2	0.1	4.3
332	砒素及びその無機化合物	1.9	0.0	0.3	1.6
合計		17,212.3	84.3	116.5	17,011.4

※ 取扱量1トン以上(特定第一種指定化学物質は0.5トン以上)の物質を対象

環境会計

2011年度の古河電工グループの環境会計を以下にまとめました。
集計は、環境省の「環境会計ガイドライン（2005年版）」を参考にしています。

環境保全コスト

(単位:百万円)

分類	主な取り組みの内容	古河電工		関係会社
		費用額	前年度比	費用額
事業エリア内コスト	大気汚染など公害防止、省エネ、廃棄物処理など	1,040	-28	1,728
上・下流コスト	梱包・ドラム回収など	517	1	430
管理活動コスト	環境マネジメントシステム監査、環境負荷監視など	370	-10	166
研究開発コスト	環境調和製品開発、有害物質代替検討など	990	288	805
社会活動コスト	緑化、地域清掃、寄付金など	5	2	2
環境損傷対応コスト	環境負荷賦課金、汚染土壌浄化処理など	1	-81	24
合計		2,923	172	3,154

※ 環境保全コストの関係会社については、対象会社（16社）が前年度と異なるため、前年度比は算出していません

環境保全効果

環境負荷排出量	古河電工	関係会社	単位
	削減量		
産業廃棄物処理量 ^{*1}	114	631	t
エネルギー投入量(原油換算)	12	15	千KL
水使用量	-717	20	千t
揮発性有機化合物排出量	37	3	t
CO ₂ 排出量	2	24	千t-CO ₂
SO _x 排出量	-35	14	t
NO _x 排出量	-11	-35	t
ばいじん排出量	1	11	t

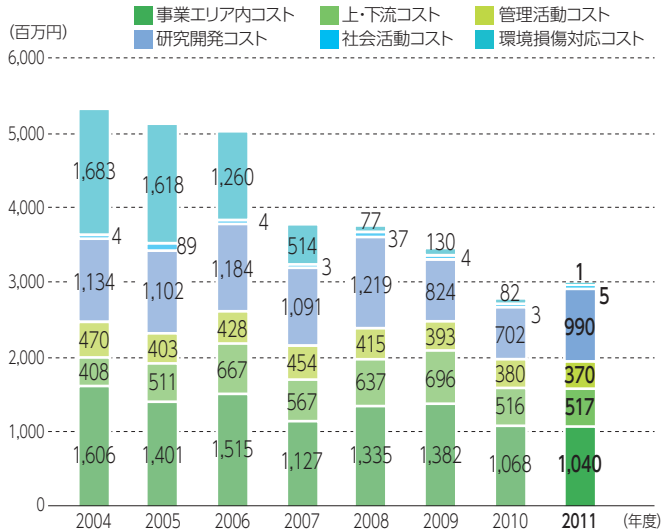
※1 再資源化産業廃棄物を除く量
※2 - (マイナス) は増加を表します

投資額および研究費

(単位:百万円)

投資額および研究費	古河電工	関係会社
	金額	
環境関連投資額	461	1,139
投資額総額	7,301	11,577
研究費総額	9,014	4,968

環境保全コスト (古河電工)



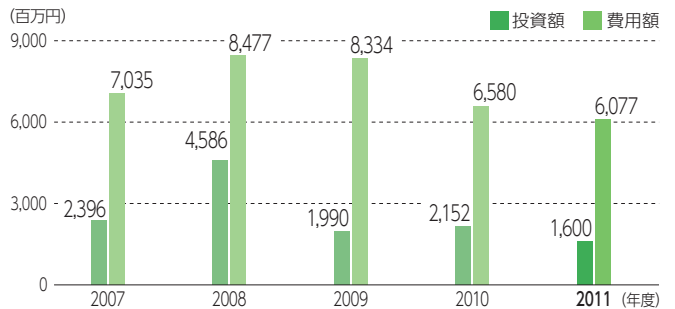
環境保全対策に伴う経済効果

(単位:百万円)

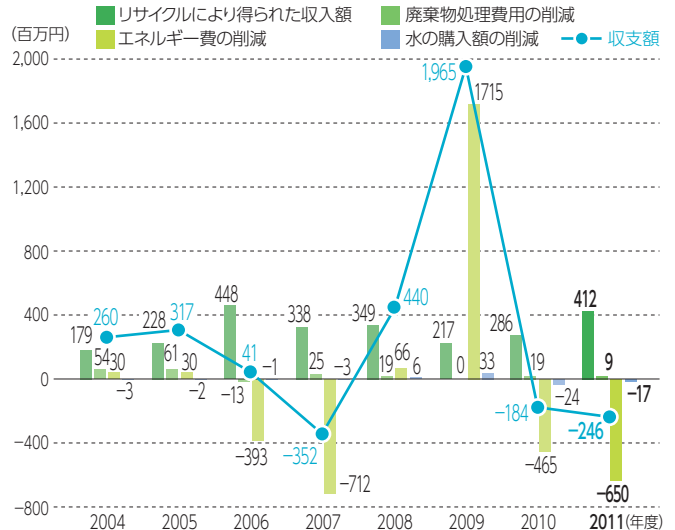
効果の内容	古河電工	関係会社
	金額	
リサイクルにより得られた収入額	412	457
廃棄物処理費用の削減額	9	5
エネルギー費の削減額	-650	-853
水の購入費の削減額	-17	8
合計	-246	-383

※ - (マイナス) は増加を表します

環境関連投資額および費用額の推移

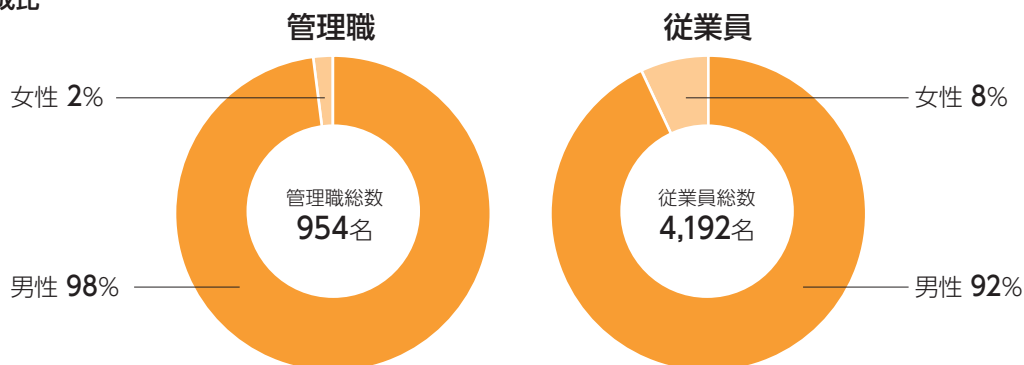


経済効果 (古河電工)



従業員との関わり ※本ページ記載データは全て古河電工単体のものです。

従業員男女構成比



男女別採用人数

(単位:人)

		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
事技職	男性	84	79	73	66	49
	女性	17	13	9	12	10
	合計	101	92	82	78	59
	うち外国人採用	1	4	4	2	3
技能職	男性	86	44	15	21	2
	女性	1	0	0	1	0
	合計	87	44	15	22	2

所定外労働時間

(単位:時間/月平均)

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
直接業務	27.62	21.62	23.36	24.15	23.84
間接業務	20.58	18.44	14.06	17.03	17.45
平均	23.64	20.10	17.75	19.72	19.85

年次定例休暇取得状況

項目	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	単位
一人あたり繰越日数(A)	23.0	22.8	22.5	22.0	22.6	日
一人あたり付与日数(B)	24.2	24.1	24.0	23.9	23.9	日
一人あたり取得日数(C)	11.1	12.1	13.6	13.3	13.1	日
取得率(C÷B)	45.9	50.2	56.7	55.6	54.8	%

※年次定例休暇は、休暇年度(9/16-翌年9/15)管理
2011年度は、休暇年度が終了していないことから未算出

ボランティア休暇取得者

(単位:人)

	2010年度
女性	0
男性	1
合計	1

※ボランティア休暇は、休暇年度(9/16-翌年9/15)管理
2011年度分は休暇年度が終了していないことから未算出

リフレッシュ休暇[※]取得者

(単位:人)

	2011年
女性	1
男性	63
合計	64

※1 リフレッシュ休暇は、暦年(1/1-12/31)管理
※2 リフレッシュ休暇は、勤続25年の従業員が14日以上31日以下の連続休暇を取得出来る制度

育児休業取得者数

(単位:人)

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
女性	41	45	39	35	35
男性	5	2	4	4	10
合計	46	47	43	39	45

介護休業取得者数

(単位:人)

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
女性	1	0	0	0	0
男性	2	0	0	1	2
合計	3	0	0	1	2

2011年度 主な社外表彰 (古河電工)

CSRの取り組み

表彰名/表彰内容	実施団体	受賞者
安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者に対する厚生労働大臣表彰 奨励賞 安全衛生に関する水準が優秀で、改善への取組が他の模範になると認められる事業場	厚生労働省	古河電工 横浜事業所
BCAOアワード 優秀実践賞 古河電気工業グループのBCM活動の推進	事業継続推進機構 (BCAO)	古河電工

論文

表彰名/対象論文	実施団体	受賞者
日本銅学会 第45回技術研究会 論文賞 CuNiSi系合金の曲げ加工性に及ぼす集合組織の影響	日本銅学会	古河電工 金属材料総合研究所 金子洋
平成23年度 レーザー学会産業賞 奨励賞 ファイバレーザを基本波に用いたバイオ用共焦点レーザースキャン顕微鏡用555nm緑色レーザ	レーザー学会	古河電工 ファイテルフォトニクス研究所 松浦寛
エレクトロニクス実装学会 技術賞 低消費電力1060nm 10Gbit/sx12ch並列光モジュール	エレクトロニクス実装学会	古河電工 ファイテルフォトニクス研究所 那須秀行 他6名